

【活動方針・重点課題】

平成 30 年度の診療報酬・介護報酬同時改定の結果が明らかになりました。我々は、この新しい報酬体系の中でアウトカムを出し、エビデンスを構築していかなければなりません。特に今までにない枠組みとして、介護報酬改定の中で他施設のリハ専門職の活用における加算など、理学療法士には自らが勤務する施設だけの業務に留まらず、地域における社会資源としての役割が示されました。このように我々を取り巻く環境が急激に変わり、超高齢社会に対峙するためには理学療法士が牽引役として頑張らなければなりません。

そんな激動の時代の中で、本会は今年度、創立 50 周年を迎えます。北海道の中で半世紀にわたり道民の健康増進、障害予防を目的に活動してきましたが、この 1 年は新たな 50 年に向けて、大きく飛躍する節目の年にしたいと考えています。

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化

地域包括ケアシステムの確立に向け、今まで以上の事業展開を進めます。そのために北海道リハビリテーション専門職協会を窓口とした対応を継続します。

特に介護予防事業については、本会独自の取り組みとして、日本理学療法士協会が全国展開を進めているシルバーリハビリ体操指導士育成のモデル事業を昨年、道北支部で実施しました。この結果を踏まえ、住民主体型の総合事業を推進するために北海道リハビリテーション専門職協会を受けている基金を使った介護予防のモデル事業を実施します。また、本年度の新たな基金については、既に北海道との調整が済みしております。

各市町村における地域ケア会議への参画については、会員への啓発に加え、研修会の開催を昨年度新設した地域包括ケア推進部を中心に進めていきます。

2. 士会組織強化のための事務局体制及び管理者ネットワークの充実

会員数が増加し本会の事業も活発になり、各支部における事業展開も増加しています。これに対応するために事務作業を前年度に引き続き、士会事務局で集約し効率の良い士会運営を進めます。

また、市町村が運営主体の地域包括ケアシステムへ積極的に対応することは、理学療法士が道民に認められるための必須条件となります。各支部におけるこの活動を円滑に推進させることが士会組織の強化に繋がります。

そのためには事務局体制の一層の強化、及び管理者ネットワークの充実が重要となります。今年度に入り、念願であった専従の理学療法士職員を雇用する予定ですので、士会組織の安定した事業展開に繋がるものと考えおります。

管理者ネットワークの充実を図るためにも、各支部での協会指定管理者の初級研修会に加えて職域別研修会を開催し、管理者間（各施設間）の連携体制の強化を進めます。

また、災害時の対応について、士会内の体制整備に加え、災害リハビリテーション支援体制についての対応を検討していきます。

3. 学術・教育活動の推進

理学療法士の質の維持・向上を図るための基本となる新人教育プログラムの履修及び修了を促進させるとともに若手会員の臨床能力の向上に取り組むために研修会等の開催方法の検討を行います。

同時に生涯学習の推進を図るためにキャリアステージを考慮した研修企画を検討していきます。また、全支部における学術研修大会が開催できるように支援していきます。

そして、本年 7 月に開催する北海道理学療法士会創立 50 周年の記念学術大会を成功させ、新たな飛躍に繋げて行きたいと考えております。

4. 道民の健康増進と障害予防の推進

道民のための予防理学療法の普及促進については、引き続き市民スポーツ大会等の支援を継続します。そのためにもこの領域で活躍できる会員のデータバンク化を進めます。

また、士会としてオリンピック・パラリンピックへの支援に向けた研修体制の整備については、協会の情報も得ながら、生涯スポーツ支援特別委員会において検討を進めます。

介護予防事業をはじめ、迅速に士会事業として対応するために NPO 法人 HPT との連携を継続していきます。

5. 北海道理学療法士連盟との連携強化

現在、国会では理学療法士の参議院議員 2 名が活躍され、理学療法士の職域の維持・拡大に向けて尽力しています。このことが、国民への適切なリハビリテーションサービスの提供に繋がっています。引き続き職能活動の充実を図るために理学療法士の政治力を強化しなければなりません。そのためにも、今まで以上に連盟組織と連携して道政へのアプローチを継続すると共に道内選出の国会議員や道議会議員等との連携も図っていきます。

《平成 30 年度重点事業計画》

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化
2. 士会組織強化のための事務局体制及び管理者ネットワークの充実
3. 学術・教育活動の推進
4. 道民の健康増進と障害予防の推進
5. 北海道理学療法士連盟との連携強化

平成 30 年度事務局事業計画

事務局

局長

柿澤 雅史

【活動方針・重点課題】

昨年度、会計処理の方法を大幅に変更し、各部局並びに支部の事務負担の軽減を図りましたが、これに伴い、事務局自体の業務量は、さらに増加いたしました。今後は、事務局に集約した、会計処理をはじめ、その他業務の効率化を継続して検討します。平成 29 年度に、会費納入の期限及び未納に伴う会員権利停止等の規定が変更となりました。このため、引き続き変更内容を周知徹底し、未納退会者が発生しないよう努めてまいります。また、長く懸案事項でありました理学療法士の事務局常勤職員の採用を予定しており、行政機関をはじめとした他団体との渉外活動をより活発に行い、士会事業のさらなる拡大を図ってまいります。

また、平成 30 年度は、士会創立 50 周年となり、式典・祝賀会を開催します。これに係る準備、運営を行います。さらに、北海道リハビリテーション専門職協会において、3 年間にわたり、実施してきた北海道からの地域リハビリテーション指導者養成研修委託事業が区切りを迎え、新たな形で委託事業を継続実施することとなり、これに伴う事務処理業務等も担ってまいります。

会員数が劇的に増加し、様々な活動がより活発に、多岐にわたる中、これに十分に対応し得るよう、引き続き組織のあり方について見直しも含め、検討してまいります。

【各部事業】

〈総務・財務部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣
- ・講師の派遣

《その他事業》

- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース割り付けなど）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

【事務局派遣協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力および事業参加

【関係団体協力事業】

- ・北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会への参加協力
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力
- ・札幌市地域リハビリテーション推進協議会への参加協力

平成 30 年度学術局事業計画

学術局

局長

杉原 俊一

【活動方針・重点課題】

生涯学習としての専門領域部・学会研修部・学術誌部の役割を踏まえ、キャリアステージを考慮した研修企画、プロフェッションとしての情報発信を目指します。重点課題としては①50周年記念学会の開催、②平成31年開始の支部学術研修大会助成金の企画・公募、③新生涯学習制度を見据えた研修の企画としました。専門領域部では、1) 技術講習会受講者数のアップ、2) 理学療法講習会応用編の拡大。学会研修部では、1) 全道学会の初夏開催に伴うタイムスケジュールの整備、2) 支部学術研修大会の助成金による支援、3) 査読システムによる質の高い発表内容の充実に努めてまいります。また、学術誌部においては、1) 北海道理学療法第35巻50周年記念号の発刊、2) 編集作業効率化の検討を進めて参ります。

【各部事業】

〈学会研修部〉

≪公2：学術振興事業≫

- ・第69回北海道理学療法士学術大会の開催支援
- ・第70回北海道理学療法士学術大会（十勝支部：帯広市）の開催計画支援
- ・学会間の円滑な引継ぎ支援
- ・学術研修大会助成金事業の企画・公募

〈学術誌部〉

≪公2：学術振興事業≫

- ・北海道理学療法査読フローの作成
- ・北海道理学療法35巻の発刊

〈専門領域部〉

≪公2：学術振興事業≫

- ・各専門領域の技術講習会開催（第200回～205回）
- ・理学療法士講習会（応用編）の開催
 - 肩関節の理学療法評価と治療～ 開催日：平成30年6月23日～24日
 - 脳性まひ児の治療と評価～ 開催日：平成30年7月7日～8日
 - 脊柱体幹の触診機能解剖～ 開催日：平成30年7月21日～22日
 - ニューロサイエンスに基づく、運動学習、姿勢制御～ 開催日：平成30年12月
- ・新たな技術講習会の企画

平成 30 年度教育局事業計画

教育局

局長

加藤 新司

【活動方針・重点課題】

教育局は、会員の卒後教育の一環を担い、協会の新人教育に合わせ基礎力向上のための研修会、講習会の実施や、健康増進・障害予防等の公益事業に資する人材の育成を図ることにより、道民の保健・医療・福祉に貢献することを目的に教育部と職域教育部の二つの部で活動します。

教育部は、新人教育プログラムの履修促進と若手会員の臨床能力向上を重点課題として取り組みます。新人教育プログラムは、士会主導のみならず、全道域で取得しやすい環境を目指し、協会のeラーニングや各支部の選択研修会と連動して実施していきます。また新人教育プログラム必須研修会は札幌開催に加え、十勝支部と連携のもと帯広においても開催し、従来まで年に1回の開催を2回開催として幅広く会員が受講できるように企画していきます。若手会員に対する臨床能力向上のための事業としては、昨年まで運動器、神経、呼吸器の3本の臨床実践研修会を開催していましたが、30年度はこれらを理学療法士講習会（基本編）として協会へ申請し、従来までの理学療法士講習会（基本編）と合わせ、計8本、受講定員540名にて実施していきます。これら8本の理学療法士講習会（基本編）を会員の臨床能力向上にむけた重点事業として位置付けていきます。さらに、若手会員向けの症例検討会も各支部で例年同様の開催を予定しています。

職域教育部においては、介護予防関係や道内スポーツ関連への傷害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会と健康支援育成講習会を3本実施していく予定です。健康支援育成講習会は必要に応じて職能局との連携をとり、柔軟に事業展開できるよう対応していくことを考えています。

【各部事業】

〈教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・教育局会議
- ・教育部会議
- ・支部症例検討会
- ・理学療法士講習会（基本編8本）

徒手の理学療法の基礎（基本編理論）（滝川開催）受講定員 80 名

観察による歩行分析（基本編理論）受講定員 100 名

画像の診方と臨床応用～運動器編～（基本編理論）受講定員 100 名

関節可動域治療の基本～下肢に対する関節可動域治療手技（基本編実技）受講定員 40 名

関節可動域治療の基本～上肢に対する関節可動域治療手技（基本編実技）受講定員 40 名

臨床実践研修会（神経編）（基本編理論）受講定員 60 名

臨床実践研修会（運動器編）（基本編理論）（旭川開催）受講定員 60 名

臨床実践研修会（呼吸循環器編）（基本編理論）受講定員 60 名

《その他事業》

- ・ 新人教育プログラム
 - 必須初期研修会（A1～5）（札幌開催、帯広開催）
 - 選択研修会（B～Eの6テーマ）（札幌開催）
- ・ 新人教育プログラム支部開催（7支部にて開催）
- ・ 新人教育プログラムテーマ承認作業（総務部と協働）

〈職域教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・ 第22回スポーツ支援育成講習会
- ・ 第23回スポーツ支援育成講習会
- ・ 第11回健康支援育成講習会
- ・ 職域教育部会議

平成 30 年度社会局事業計画

社会局

局長

盛 雅彦

【活動方針・重点課題】

社会局は、理学療法士と社会（地域）の双方向の窓口として、理学療法士が専門知識・技術を持って社会に貢献するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼を置いて活動しております。

平成 30 年度の予定としては、スポーツ支援部では、スポーツ関連事業へ派遣するスポーツメディカルサポート会員のデータバンクの作成と関連する研修会の開催に向け教育・学術局と協議を行う予定です。介護予防・健康増進支援部では、他団体からの派遣要請に対しても引き続き会員の皆様のご協力を得ながら対応するとともに、昨年度未完成であった会員派遣に関する内規案を完成させたいと考えます。また、札幌市内での派遣要請については、札幌支部への移管も視野に入れ検討していく予定です。介護予防事業関連については、職能局と連携しながら地域包括ケアの推進を支援していきたいと考えます。企画推進部では、イメージキャラクターの募集と第 1 次選考が完了しましたので第 2 次選考を行い完成させる予定です。広報部では、士会ニュースの更なる充実を目指すとともに、新たな広報用のリーフレット作成を検討していきます。

また、社会局主管で行っていた「札幌市立高等学校職場体験事業」の調整を札幌支部へ移管するなど、今後は、この他の社会局の各事業も支部事業とのすみ分けも解り易いよう整理していきたいと考えます。

この他、日本理学療法士協会が新規モデル共同事業として進めているダイハツ工業とのコラボ企画については、道内においても開催できるよう検討していきます。

【各部事業】

〈スポーツ支援部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・北海道マラソン救護班派遣
- ・高野連メディカルサポート支援（高野連メディカルサポート連絡協議会への参画）
- ・スポーツ関連事業へのスタッフ派遣・調整（パラスポーツへのサポート活動を含む）
- ・スポーツ派遣支援のための情報ネットワーク構築

〈介護予防・健康増進支援部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整
- ・いきいき健康・福祉フェア 2018 への企画参入と出展
- ・札幌刑務所社会復帰支援プログラムへの講師派遣

〈企画推進部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展
- ・道民向け啓発セミナー（小学生向けセミナー実施、パッケージの広報、イメージキャラクター等の制作）
- ・社会分野小委員会の開催に関すること（社会分野奨励賞）

〈広報部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・啓発用リーフレットの作成
- ・ホームページへ掲載する啓発原稿の作成

《公 2：学術振興事業》

- ・士会ニュース「Northerner」の編集・発行、取材

平成 30 年度職能局事業計画

職能局

局長

濱本 龍哉

【活動方針・重点課題】

職能局は支部職能部と協同し、地域包括ケアにおける活動をはじめとした、北海道における理学療法士の公益活動の拡大とともに職域の拡大に向けての活動を実施していきます。さらに、職能としての理学療法の充実に向け、会員への情報発信、復職支援等を実施していきます。また、職能団体としての機能をより充実させる目的で、管理者ネットワークの形成に向けた活動を実施します。

保険事業部では、診療報酬及び介護報酬関連の情報収集と整理、情報配信、会員からの疑義解釈について回答、調査を継続して実施していきます。また、報酬関連の制度についての研修会を実施します。

職域事業部では、職能領域拡大に向けた社会・医療関連情報、職場環境等の情報の収集と会員への提供を通じて、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動を継続します。職場・職域偏倚への対応として介護保険領域への活動を継続します。休職者の職場復帰に向けての支援についても継続していきます。また、今後の活動の方向性を検討するため、大規模な状況把握調査を実施し、会員のおかれている環境実態の把握、課題分析等を行います。

地域包括ケア推進部では、会員への地域包括ケアシステムに対する啓発と地域における介護予防、ケア会議への参加を担う人材への研修を行っていきます。また、北海道リハビリテーション専門職協会と連携し、各地域の活動を援助していきます。

【職能局事業】

《公 2：学術振興事業》

- ・支部職能部合同会議
- ・職能局会議

【各部事業】

〈保険事業部〉

《その他事業》

- ・診療報酬・介護報酬関連の情報収集・整理・情報配信
- ・診療報酬及び介護報酬関連の会員からの質問への回答
- ・診療報酬・介護報酬関連の調査
- ・診療報酬・介護報酬改定に伴う制度についての研修会

〈職域事業部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・管理者研修会（10 支部）

《その他事業》

- ・職能に関する情報提供事業
- ・北海道の理学療法士数の職域偏倚是正に向けた事業
- ・介護保険領域への従事を考えてもらうためのワークショップ
- ・介護施設での実習受け入れ増加を目的としたワークショップ
- ・養成校における、介護保険領域に関する意識・知識の実態調査
- ・職域事業部内データベース管理事業
- ・復職支援事業担当者会議
- ・休職している会員対象ワークショップ
- ・職域事業部会議
- ・理学療法士の職域拡大に向けた提案・啓発事業
- ・会員動向把握事業
- ・施設管理者ネットワーク構築事業・職能に関する情報提供事業

〈地域包括ケア推進部〉

《公2：学術振興事業》

- ・地域包括ケアシステムを学ぼう
- ・地域包括ケアシステムを学ぼう（支部開催）
- ・地域包括ケア研修会（中堅対象）
- ・地域包括ケア推進リーダー導入研修会
- ・介護予防推進リーダー導入研修会

《その他事業》

- ・地域リハビリテーション活動支援事業等サポート事業
- ・支部地域包括ケア窓口担当者会議（各支部単位での実施）
- ・補装具作成相談支援事業
- ・地域包括ケア推進部会議

平成 30 年度支部事業局事業計画

支部事業局

局長

信太 雅洋

【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案、事業の実施や決算の報告などを支援します。また、年々重要性が増しております地域包括ケアシステムに関連した活動についても、職能局との連携を図り支部活動を推進させてまいります。特に住民参加型介護予防活動として体操指導士の養成講座の開催を支援します。

平成 30 年度は、各支部の学術・教育活動、社会活動、職能活動について全道均一のサービスが行えるよう事業計画を支援する反面、支部の特色（特性）ある活動も支援します。また、収支面からも調整を図りながらも、ある意味では支部毎に独立した団体を視野に入れて対応します。支部主催学会の奨励や理学療法士講習会の開催などは学術局と調整しながら進めます。また、理学療法週間については、平成 29 年度に引き続き介護予防の PR も兼ねた理学療法士の啓発活動を社会局と協調し道民向けに実施いたします。さらに、教育局主導で計画されている新人教育プログラムセミナーの支部開催については、地域単位で異なるニーズを鑑みながら支援・調整いたします。

【各支部事業】

〈道南支部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・各種派遣事業（函館マラソンメディカルサポート、スペシャルオリンピックス日本、南渡島地域リハビリテーション推進会議）
- ・支部社会部主催（函館市 NPO まつり出展参加）
- ・支部社会部会議（年 3 回）
- ・函館蔦屋書店 未来づくりマルシェ『人とつながる、未来とつながる』

《公 2：学術振興事業》

- ・支部学術教育部会議：年 6 回（5 月、7 月、9 月、10 月、1 月、2 月予定）
- ・支部症例検討会：年 4 回（7 月、9 月、11 月、1 月予定）
- ・支部研修会：年 4 回（9 月、11 月、12 月、1 月予定）
- ・新人教育プログラム：年 2 回（時期未定）
- ・第 4 回道南理学療法士学術大会（秋頃）
- ・支部役員会：6 回（4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、3 月）

《その他事業》

- ・平成 30 年度 道南支部職能部研修会 「理学療法士業界における課題とその解決（仮題）」
- ・支部職能部会議：年 2 回（5 月、11 月頃）
- ・「地域包括ケアシステムを学ぼう」伝達講習会
- ・新人歓迎会：8 月

〈日胆支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・理学療法週間事業（伊達）
- ・健康フェスタとまこまい 出展
- ・メディカルサポート派遣 3回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・各種派遣事業 介護認定審査会審査員の推薦派遣（苫小牧・室蘭・登別）、
西胆振地域リハビリテーション推進会議役員派遣 など

《公2：学術振興事業》

- ・支部研修会 5回（苫小牧1回・室蘭2回・伊達1回・日高1回）
- ・症例検討会 6回（苫小牧2回・室蘭2回・伊達1回・日高1回）
- ・支部役員会 2回（11月・2月）
- ・地区運営委員会 8回（苫小牧・室蘭・伊達・日高、各2回）

《その他事業》

- ・新人歓迎会（苫小牧・室蘭・伊達・日高） 4～5月
- ・職能部研修会（住民主体型の総合事業獲得・運営習得研修会の伝達を中心に） 2回
- ・日胆支部ニュースの発行

〈札幌支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防事業・健康まつりへの参画（清田：9月予定、手稲：9月予定）
- ・理学療法週間事業～さっぽろ医療&福祉フェスタ～
（7月～てんとう虫テスト、ロコモ25、FRAXの実施 福祉機器展示・紹介等も含む）
- ・市民・会員向け講習会（オープンセミナー）（タクティールケア：9-10月頃、半日開催予定）
- ・高校野球空知支部予選メディカルサポート（5月、7月、9月：3回）
- ・各種推薦派遣事業（随時対応）

《公2：学術振興事業》

- ・会員向け学術集会「第5回札幌理学療法学術大会」（演題数10 演題＋特別講演＋セミナー：2月中旬）
- ・新人教育プログラムセミナー（第5回札幌理学療法学術大会内での開催、2テーマ程度）
- ・札幌支部講習会（内部疾患系リハビリテーション：8月、半日開催予定）
- ・支部役員会 3回
- ・札幌支部社会局会議 1回

《その他事業》

- ・講師バンク・スタッフバンク・メール等連絡先登録などのアンケート調査（支部職能部担当 6～8月）

〈石狩支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・北広島市（9/2）・千歳市（9/8）・石狩市（10月）の健康祭り出展
- ・理学療法週間事業～高校生理学療法体験～（7月～8月）
- ・理学療法週間事業～介護予防キャンペーン～（7/17）
- ・石狩支部社会部会議：年3回（6月・8月・10月）

《公2：学術振興事業》

- ・症例検討会 年5回（6月2回・9月・10月・12月）
- ・石狩支部講習会：講師およびテーマは未定（6月～2月）
- ・石狩支部若手研修会：年3回（4月～3月）
- ・石狩支部教育部会議：年2回（5月・8月）
- ・支部役員会議：年4回（4月・8月・11月・2月）

《その他事業》

- ・石狩支部職能部会議：年2回（4月～5月、9月～10月）
- ・管理者研修会（初級）：年1回（6月～7月）
- ・新人歓迎会 石狩3地区：各1回（5月～6月）
- ・地域包括ケアシステム研修会：年1回（10月）

〈後志支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志支部社会部会議（年2回）
- ・後志いきいき健康まつり 出展（7～10月）
- ・理学療法週間事業～介護予防教室（7月 2ヶ所予定）
- ・各種派遣推進事業

《公2：学術振興事業》

- ・H30年度第1回研修会（未定）
- ・H30年度第2回研修会（未定）
- ・症例検討会（年3回；7月、10月、2月）
- ・支部役員会議（年4回）
- ・支部学術教育部会議（年2回）
- ・支部社会部会議（年2回）

《その他事業》

- ・新人歓迎会（4～7月）
- ・各種推薦派遣事業（新年交礼会の出席等）
- ・後志地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（協賛金納入他）

〈空知支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（4月、7月、10月、2月：4回）
- ・高校野球空知支部予選メディカルサポート（5月中旬（春季）、7月上旬（夏季）、9月中旬（秋季）：3回）
- ・理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市、7月）
- ・理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（三笠市、7月）
- ・理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市、10月）
- ・2018 ふれあい広場くりやま（栗山町、11月）

《公2：学術振興事業》

- ・空知支部役員会議（4月、8月、10月、2月：4回）
- ・空知支部全体集会（岩見沢市立総合病院、5月）
- ・空知支部第1回講習会：「変形性膝関節症に対する理学療法（仮）」（岩見沢市立総合病院、5月）
- ・空知支部学術教育部会議（7月、10月：2回）
- ・第3回空知理学療法士学術集会（滝川市立病院、11月）
- ・空知支部症例検討会（9月・北空知、1月・南空知、2月・中空知、計3回）

《その他事業》

- ・空知支部新人歓迎会（岩見沢市、5月）
- ・第1回空知支部職能部研修会：「地域包括ケアシステムの現状（仮）」（砂川市立病院、6月）
- ・第2回空知支部職能部研修会：「管理者向けの災害対策（仮）」（北海道せき損センター、10月）

〈道北支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・旭川市健康まつり参加（6月予定）
- ・理学療法週間事業～介護予防健康増進キャンペーン～（7月・旭川市および富良野市）
- ・旭川地区高校野球メディカルサポート（3大会予定）
- ・名寄地区高校野球メディカルサポート（3大会予定）
- ・旭川ハーフマラソン参加者サポート（9月予定）
- ・SWEET GIRL RUN参加者サポート（9月予定）
- ・バーサーロペットジャパン参加者サポート（3月予定）
- ・リハビリ体操指導士3級養成講座（5会場）
- ・社会部各種事業事前会議（健康まつり・PT週間・スポーツ関連サポート事業）
- ・各種派遣推薦事業
- ・社会部備品補充事業

《公2：学術振興事業》

- ・学術教育部会議2回
- ・H30年度第1回研修会（関節可動域制限・沖田実氏）6月2日開催予定
- ・H30年度第2回研修会（地域在住高齢者に対する評価と運動処方・山田実氏）8月12日開催予定
- ・第1回道北理学療法学術研修会（臨床推論に必要な評価とその展開方法）9月9日開催予定
- ・第3回道北理学療法学術大会（テーマ：未定）平成31年2月開催予定
- ・症例検討会3回（6-7月、9-10月、2-3月）
- ・新人教育プログラム研修関連事業（2回）
- ・地域キャラバンIN稚内（宗谷地区での研修会）
- ・支部役員会議5回（5月、7月、9月、10月、11月）
- ・拡大役員会議（3月予定）

《その他事業》

- ・支部全体集会（12月予定）
- ・職能部研修（12月予定）
- ・支部新人歓迎交流会（上川中部・宗谷・上川北部・留萌・富良野）（4～5月）
- ・支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）
- ・道北支部ホームページ更新：随時
- ・上川中部地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（年会費納入他）
- ・宗谷地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（年会費納入他）
- ・支部長派遣（北都専門学校入学式・卒業式、医師会新年会、NPO法人総会、上川中部ハ総会他）

〈十勝支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・各種推薦派遣事業
- ・理学療法週間事業～介護予防～：7月
- ・高野連メディカルサポート：5月～10月
- ・市町村事業・健康祭りへの参画（てんとう虫テストの活用）：5月～2月
- ・市民公開講座（介護予防）：5月～10月
- ・社会部会議（年2回）：5月～3月

《公2：学術振興事業》

- ・症例検討会（3回）：5月～9月
- ・第1回研修会（学術・教育部企画）：6月～7月「運動器系」
- ・第2回十勝理学療法学術大会：9～11月
- ・役員会（年6回）：4月～3月
- ・学術教育部会議（年2回）：5月～3月

《その他事業》

- ・関連団体・機関・施設への挨拶状送付：5月～2月
- ・支部内会員名簿の作成と配布：5月～6月
- ・講師バンク：5月～7月
- ・新人歓迎会：5～6月
- ・新人教育プログラム支部開催：5月～3月
- ・帯広市介護予防事業：5月～3月
- ・職能部会議（年1回）：5月～3月

〈釧根支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・理学療法週間事業～介護予防～（7月）
- ・くしろ健康まつり（10月）
- ・こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・スポーツ支援活動公開講座（時期未定）
- ・釧路市介護認定審査会
- ・釧路市障害支援区分等審査会
- ・釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定市民委員会
- ・釧路根室支庁住宅改善指導チーム
- ・根室地域ケア会議委員
- ・防災関連研修会（HUG ゲーム「Do はぐ」）（時期未定）
- ・社会部会議（1回）

《公2：学術振興事業》

- ・理学療法基礎講習会（2回時期未定）
- ・症例検討会（3回時期未定）
- ・新プロ支部開催（時期未定）
- ・役員会議（5回）
- ・学術教育部会議（2回）

《その他事業》

- ・職能部会議（3回）
- ・新人歓迎会
- ・地域リハビリテーション関連研修会（時期未定）
- ・新人教育プログラム研修（時期未定）
- ・会計部会議（1回）

〈道東支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・香りゃんせフェスティバルへの出展（7月予定）
- ・平成30年度高校生対象のリハビリテーション見学について（5月～10月予定）
- ・理学療法週間事業～介護予防キャンペーン～（7月17日）
- ・北見市健康まつりへの出展
- ・網走市市民健康まつりへの出展
- ・スポーツ支援事業（4月～3月）
- ・ハッカの日ジョイントコンサート
- ・北見市ふれあい広場への出展
- ・地方情報誌「伝書鳩」への記事掲載
- ・体操普及推進事業（4月～3月）
- ・地域包括協働事業（同行訪問、施設ケースカンファレンス）
- ・社会部担当者会議（年5回：4、5、6、8、11月予定）
- ・高栄フェスティバルへの出展（新規事業）
- ・北見市菊まつりへの出展（10月予定）（新規事業）
- ・知ってみんなと教室（新規事業）

《公2：学術振興事業》

- ・道東支部研修会（年2回：8-10月、11-3月予定）
- ・道東支部学術大会（6月23日）
- ・新人教育プログラム（6月23日予定）
- ・症例検討会（年1回予定：7～3月予定）
- ・スポーツ支援研修会
- ・支部役員会議（年5回：5、8、10、12、3月予定）
- ・学術教育部担当者会議（年5回：5、7、9、11、2月予定）

《その他事業》

- ・支部ニュース発行（年4回：5、9、12、3月予定）
- ・新人歓迎会
- ・講師派遣事業公文書発行（適宜）
- ・地域ケア個別会議マニュアル北見版・網走版更新
- ・職能部担当者会議（年4回：5、8、10、2月予定）
- ・職能部研修会
- ・地域包括協働事業推進会議（年4回：6、8、10、2月予定）